あおぞら

Vol. 71
2022.3月号

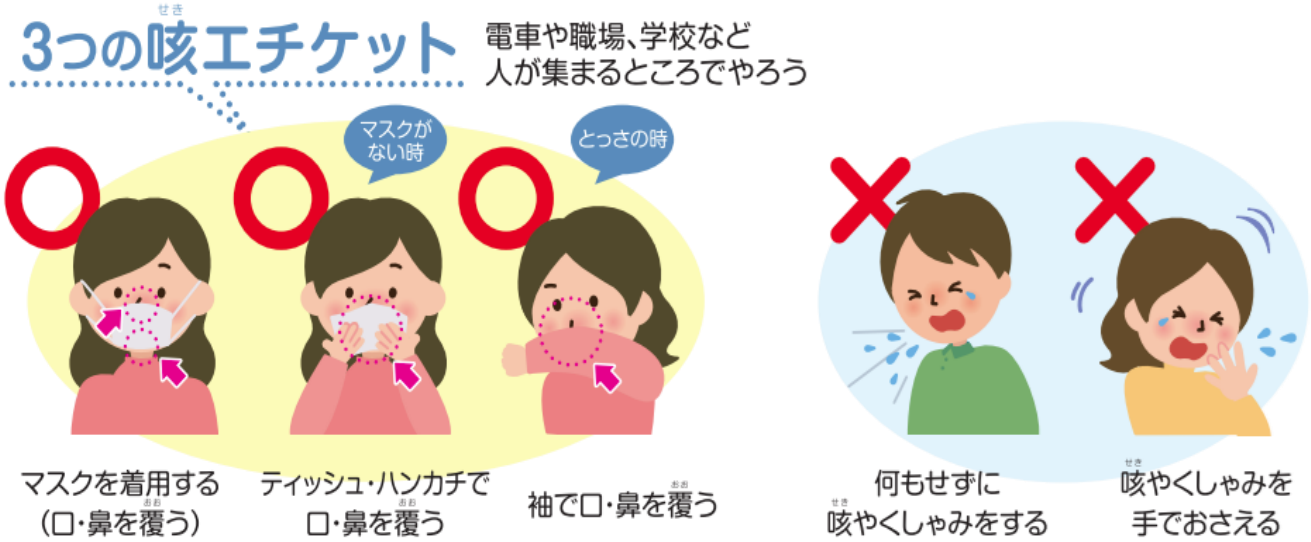
Denenchofu Central Hospital Free Paper

TOPICS: 花粉症と咳・くしゃみエチケット＆新型コロナウイルス感染症治療薬

新型コロナウイルス感染症の第6波が猛威を振るっている中、新型コロナウイルスの流行から約2年が経過し、薬物治療に関する知見が集積しつつあります。ニュース等で報じられていることもあり気になるところです。
今月号では、先ず、この季節に多くの方が悩まれる『花粉症と咳・くしゃみのエチケット』についてご紹介し、次のテーマでは、新しい経口薬を中心に『新型コロナウイルス感染症の治療薬』についてご紹介いたします。

花粉症と咳・くしゃみエチケットについて

3月に入り、今年も花粉症の症状に悩まされる人が多くいらっしゃいます。
花粉症の主な症状といえば、くしゃみ・鼻水・目のかゆみ等ですが、咳やくしゃみをする時の飛沫にウイルスを含んでいる可能性がありますので、下記の図のように、咳やくしゃみをする際はエチケットを心がけましょう。



首相官邸 Prime Minister's Office of Japan
厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare
厚労省 検索

出典：厚生労働省「咳エチケット」https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593495.pdf

新型コロナウイルス感染症治療薬について

新型コロナウイルス感染症治療薬は、**新型コロナウイルスに感染した方全員が使用できるわけではありません。**
医師の診療、判断のもと患者さんの状態に合わせた治療を行っていきます。
日本で新型コロナウイルス感染症に対して適応のある治療薬は、2022年2月13日時点で8種類あります。
これらは、すべての病院の**医師の処方のもとで使われる薬**となります。

薬品名	軽症	中等症Ⅰ	中等症Ⅱ	重症	説明
レムデシビル （商品名：ベクルリー）	△	○	○	○	抗ウイルス薬。 軽症は適応外だが重症化リスク因子のある場合に考慮することもある。
バリシチニブ （商品名：オルミエント）	×	×	○	○	元々は関節リウマチ等に使われている。 免疫が過剰に働いてしまったときに抑える薬。 レムデシビルと併用する。
カシリビマブ/イムデビマブ （商品名：ロナプリーブ）	○	○	×	×	中和抗体薬。デルタ株と比べオミクロン株に対しての効果が低いという報告があり、オミクロン株への投与は推奨されない。
ソトロビマブ （商品名：ゼビュディ）	○	○	×	×	中和抗体薬。デルタ株と比べオミクロン株に対しての効果は若干の減弱に留まり、有効性が期待できると考えられている。
モヌルピラビル （商品名：ラゲブリオ）	○	○	×	×	抗ウイルス薬。 抗新型コロナウイルス薬において初の飲み薬。
ニルマトレビル/リトナビル （商品名：パキロビッドパック）	○	○	×	×	抗ウイルス薬。 モヌルピラビルに続き、新たに開発された飲み薬。
デキサメタゾン	×	×	○	○	副腎皮質ステロイド薬。 有害な炎症反応を予防または抑制する可能性が示唆されている。
トシリズマブ （商品名：アクテムラ）	×	×	○	○	元々は関節リウマチ等に使われている。 免疫が過剰に働いてしまったときに抑える薬。 ステロイドと併用する。

新型コロナウイルス感染症では、発症後数日はウイルス自体による症状が主であり、発症後7日前後からは宿主免疫による炎症反応が主病態であると考えられています。このため、発症早期には、抗ウイルス薬または中和抗体薬、そして発症7日前後以降に中等症・重症となっている場合には抗炎症薬の投与が重要となるのです。

【重症度の分類（簡略）】

- 軽症：呼吸器症状なし、または咳のみで呼吸困難なし。肺炎所見を認めない。
- 中等症Ⅰ：呼吸不全なし。呼吸困難、肺炎所見あり。入院が必要。
- 中等症Ⅱ：呼吸不全あり、酸素投与が必要。（高度な医療を行える施設へ転院する可能性がある。）
- 重症：集中治療室に入室または人工呼吸器が必要。

出典：感染症学会「COVID-19に対する薬物治療の考え方 第13版（2022年2月10日）」
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_drug_220210.pdf
厚生労働省「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 6.2 版 」https://www.mhlw.go.jp/content/000888565.pdf

新しい経口治療薬について

2022年2月13日時点で国内にて承認されている飲み薬の抗新型コロナウイルス薬は2種類あります。

- **モルヌピラビル**（商品名：ラゲブリオカプセル）2021年12月24日に承認されました。
- **ニルマトレビル / リトナビル**（商品名：パキロビッドパック）2022年2月10日に特例認定されました。

短期間で特例として承認された薬剤のため、**文書による同意を得てから投与する必要があります。**

モルヌピラビル

ウイルスの増殖を抑える薬です。抗新型コロナウイルス薬において初の飲み薬です。

投与対象となるのは、**投与の時点で発症日から5日以内、18歳以上、妊娠している可能性がなく、重症化リスク因子を有する、軽症または中等症Ⅰの患者さん**です。

動物実験で胎児毒性が報告されているため、**妊娠している女性または妊娠の可能性のある女性には投与できません。**

ニルマトレビル/リトナビル

2つの薬がセットになっている飲み薬です。

ニルマトレビルはウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬、リトナビルは薬の代謝を遅らせ、抗ウイルス薬の体内濃度を維持する薬です。

投与対象となるのは、**投与の時点で発症日から5日以内で、成人および12歳以上かつ体重40㎏以上の小児のうち、重症化リスク因子を有する、軽症または中等症Ⅰの患者さん**です。

一緒に飲むことのできない薬があり、**飲み合わせを医師または薬剤師が確認する必要があります。**

また、タバコ（喫煙）は、この薬の効果を下げるおそれがあり、服用中は禁煙が必要です。

出典：感染症学会「COVID-19に対する薬物治療の考え方　第13版（2022年2月10日）」
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_drug_220210.pdf
MSD「ラゲブリオカプセル患者向医薬品ガイド」https://www.msdconnect.jp/wp-content/uploads/sites/5/2022/01/ppi_lagevrio_cap200.pdf
ファイザー「パキロビッドパック患者向医薬品ガイド220210.pdf」https://www.covid19oralrx-hcp.jp/files/パキロビッドパック_患者向医薬品ガイド_220210.pdf

現在開発中の薬（2022年2月13日現在）

モルヌピラビル、ニルマトレビル/リトナビルに続く経口抗ウイルス薬として開発が進められているS-217622（開発番号）についてご紹介します。

S-217622

国内企業が開発中である経口抗ウイルス薬です。現在、臨床試験の最終段階を実施中です。

軽症・中等症を対象患者とし、2022年2月中に承認申請が行われる予定です。

今後さらに経口薬を含めた新型コロナウイルス治療薬が開発され治療の選択肢が広がることが望まれます。

出典：塩野義製薬「2月7日 COVID-19治療薬「S-217622」に関する説明会　Transcript」
https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/investors/ir-library/presentation-materials/fy2021/20220207_transcript.pdf

田園調布中央病院
新型コロナワクチン追加接種について

全額公費（無料）で受けられます

【対象者】大田区在住で接種券が届いた方

※当院は3回目の追加接種の方が対象の接種会場です。1回目・2回目の方は予約をお取りできません。

※2回目接種を終了した日から一定期間経過後の日付を選んで予約が可能です。

- 医療従事者：2回目接種を終了した日から6か月経過後
- 高齢者施設入所者・高齢者施設等従事者：2回目接種を終了した日から6か月経過後
- 上記以外の65歳以上の高齢者：2回目接種を終了した日から6か月経過後
- その他一般（64歳以下の方）：2回目接種を終了した日から6か月経過後

【予約方法】 1回目、2回目接種同様ご予約はすべて大田区の予約システムまたは下記の電話予約のみです。病院ではご予約できません。

- 新型コロナワクチン接種予約システム「個別接種会場」**大田区ホームページ：個別接種会場 (city.ota.tokyo.jp)**
- 大田区新型コロナワクチン接種コールセンター　電話：**03-6629-6342**　受付時間：平日・土曜日 午前8時00分～午後5時15分

お電話のお掛け間違いが多くなっております。発信前に改めて電話番号をご確認いただきますようお願いいたします。

【接種日時】2022年2月13日（日）～ 毎週日曜日 ※平日の接種は行いません。

【注意事項】※問診医師を選択することはできません

※当院の使用ワクチンはファイザー株式会社（コミナティ）となります

新型コロナワクチン接種証明書の電子版が取得できるようになりました

スマートフォンを使って国内用と海外用の新型コロナワクチン接種証明書が取得できるようになりました

- 2021年12月20日からApp Store 及び Google Playで公開されています。
- 日本政府公式の新型コロナワクチン接種証明書アプリです。
- 日本国内用、海外用の接種証明書をアプリで発行できます。

App Store
新型コロナワクチン接種証明書アプリ インストールページ

Google play
新型コロナワクチン接種証明書アプリ インストールページ

○ 接種証明書（電子版）は、スマートフォン上で専用アプリ（デジタル庁発行）から申請・取得し、表示可能となります。

※マイナンバーカードを読み取ることができるスマートフォンに限ります

・iOS13.7以上
・Android OS 8.0以上

〈そのほか必要なもの〉

・マイナンバーカードと暗証番号4桁（カード受取の際に設定した券面入力補助用の暗唱番号）
・（海外用のみ）パスポート

○ 電子版の申請にはマイナンバーカードが必要です

★ マイナンバーカードをお持ちでない方はマイナンバーカードの申請が必要です。
マイナンバーカードの申請から交付の準備まで、現在約2か月程度かかります。

○ 紙様式の接種証明書も引き続き申請できます

新型コロナワクチン接種証明書アプリ
発行：デジタル庁

出典：デジタル庁「新型コロナワクチン接種証明書アプリ」https://www.digital.go.jp/policies/posts/vaccinecert

〒145-0071 東京都大田区田園調布2-43-1 http://denenchofu-hp.jp/
TEL.03-3721-7121（代表）FAX.03-3722-6435